

化学工業日報社より、『肥料の夜明け・・・肥料ミネラルと人の健康』を平成30年10月に発行した。目次を下記に示すが1編は、平成29年9月に日本土壌肥料学会で開催したシンポジウム「肥料・ミネラルと人の健康」の内容を各講演者に執筆していただいたものである。2編は化学工業日報社発行の月刊誌「化学経済」に平成26年～27年に「肥料の夜明け」との表題で連載執筆させていただいた原稿をとりまとめたものである。内容は多岐にわたるが近年の筆者の肥料ミネラルと人の健康との関係の総まとめと言っても過言ではない。

特に硝酸塩については、筆者は従来から体に悪いものではなく、むしろ人の健康維持に役立っていることを主張してきたが、たまたま農水省が平成27年1月に「農水省が優先的にリスク管理を行うべき有害物質のリストから硝酸性窒素を対象から外し、それに関連し、平成28年3月に「農業技術の基本指針」から「野菜の硝酸塩対策」を削除したことが本書の追い風になって、筆者の従来からの主張の説得力を高めていただいている。まさに本書発行の絶好の機会となった。農水省が野菜などに多く含まれる硝酸イオンを従来のに悪いものから良い物とのかんがえかたの変換は非常に大きいのだが、野菜の流通に関わっておられる一般の方々はほとんど知らない。その事を本書で確認くださるだけでも本書の価値が十分あると筆者は思っている。多くの皆様が本書を読んでくださることを祈願している。

## 肥料の夜明け・・・肥料・ミネラルと人の健康・・・目次

### 第1編 肥料・ミネラルと人の健康

- 第1章 はじめに——特に硝酸塩について (渡辺和彦)
- 第2章 硝酸塩の臓器保護作用 (土屋浩一郎)  
——亜硝酸塩の体内での代謝と生理作用について
- 第3章 大腸がん抑制作用からみたマグネシウムの働き (田中卓二)
- 第4章 ホウ素の人への健康作用 (高野順平)
- 第5章 亜鉛欠乏症の臨床と疫学 (倉澤隆平)  
——多くの医師が考えるよりも、はるかに多くの多彩な亜鉛欠乏症患者が存在する
- 第6章 ケイ素の人への健康作用についての考察 (馬 建鋒)
- 第7章 ま と め (渡辺和彦)

### 第2編 肥料の夜明け (渡辺和彦)

- 第8章 野菜に含まれる硝酸塩は有害か？
- 第9章 硝酸塩の生体内での多様な作用
- 第10章 亜鉛の健康効果と土壌問題
- 第11章 アトピー性皮膚炎と米の品種
- 第12章 アトピー性皮膚炎に対する亜鉛の効果と悪化因子としての増粘剤
- 第13章 マグネシウムの植物と人での健康作用
- 第14章 骨はケイ素が作る
- 第15章 ホウ素は寿命を延ばす
- 第16章 ケイ素は骨ホルモン(オステオカルシン)を活性化
- 第17章 土壌のマンガン不足は作物のリノール酸を増加